

日誌

日誌 07月14日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.9 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	情報提供書
		情報提供書
	10:00	服薬指導
		服薬指導
	11:00	薬歴
		服薬指導
	12:00	薬歴
		休憩
	13:00	休憩
		健康セミナー準備
	14:00	フィードバック
		フィードバック
	15:00	調剤
		調剤
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月14日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

関節リウマチの患者さんの服薬指導を担当した。新たにカルボシステインが追加されていたため、痰が絡むのか確認した。会話の中で、患者さんが「口内炎が治らない」と訴えたため、指導薬剤師の方が、どこにできていたのかを確認したところ、「舌の裏や喉のあたり」とのことだった。さらにお薬手帳を確認したところ、別の薬局でリウマトレックスカプセル2mg（メトトレキサート）とフォリアミン（葉酸製剤）を受け取っていたことが判明した。フォリアミンの服用方法が朝食後3日分と記載されていたため、患者さんは3日間連続で服用した。メトトレキサートは葉酸を阻害することで免疫機能を抑える薬である。メトトレキサートの効果が過剰になってしまうと、さらに免疫機能を低下させるため、副作用である口内炎、間質性肺炎、感染症、白血球や血小板の減少などが出現するリスクが高まる。葉酸はメトトレキサートの過剰な効果を抑えるために用いられる。メトトレキサートは週に1回服用する薬であるため、リウマトレックスカプセル服用後の翌日にフォリアミンを服用する必要があったのではないかと推測された。今回のケースでは、フォリアミンは最近になって追加された薬であったこともあり、飲み方に関する十分な説明がなされなかった可能性が高いと考えられた。新しい薬が追加された際の説明の重要性を学べる機会だった。特に飲み方が特殊な薬は、患者さんが理解できるまで説明をしなければならないと実感した。

糖尿病の患者さんの服薬指導を担当した。前回も担当した患者さんであったが、今回は前回と比較してあまり元気がない様子だったことに気づいた。

レストレスレッグス症候群の患者さんの情報提供書の作成を行ったほか、明日実施の健康セミナーに向けた2回目の発表の練習を行った。また、発注の受け取りも実施した。

日誌

日誌 07月14日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月14日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	リウマチの患者さんの服薬指導を通して、メトトレキサートと葉酸の関係について深く触れることができた。リウマトレックスカプセル、フォリアミン錠について、適応、用法用量、副作用、使用上の注意、作用機序などについて確認する。 。糖尿病の患者さんについては、前回と比較して元気がない様子に気づいたが、それを深く掘り下げることができなかった。「元気ないように見えますが、何かあったのですか」などの声かけができていれば、何か情報を引き出す結果になったかもしれない。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月15日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.9 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	情報提供書
		情報提供書
	10:00	印刷
		突発性難聴
	11:00	情報提供書
		地域食堂
	12:00	健康セミナー
		休憩
	13:00	休憩
		一包化の監査
	14:00	心不全
		白血病
	15:00	災害時の薬剤師の役割
		災害時の薬剤師の役割
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局) 地域食堂	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月15日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

地域食堂にて健康セミナーを実施し、熱中症や冷却グッズについて発表を行った。参加者の反応も良好で、大きな達成感を得ることができた。

プレドニン錠（プレドニゾン）が1日12錠から2日ごとに10錠→8錠→...と徐々に減量されている処方箋に触れた。他の実習生がこの処方が耳鼻科から出されていたことに着目し、突発性難聴ではないかと推測していた。講義資料を確認したところ、突発性難聴の治療においては、一般的にプレドニゾンを1mg/kg/dayで開始し、その後徐々に減量していくという内容が記載されており、今回の処方とも一致していた。ステロイドは急に投与を中止する体内のステロイドホルモンバランスが崩れてしまうため、徐々に減量することが重要であることを学んだ。また、ステロイドホルモンには日内変動があり、朝に分泌量が多く、夕方から夜にかけて少なくなる。そのため、今回の処方箋でも夕食後の分から先に減量されていた。

心不全の患者さんに処方されていた薬の中で、フロセミドとビソプロロールについて触れた。フロセミドは水分を排泄することで、心臓の負担を減らしている。一方、ビソプロロールは頻脈を抑えることで心臓への負担を軽減している。また、メルカゾール錠（チアマゾール）も処方されており、バセドウ病であることがわかった。副作用として無顆粒球症があることを学んだ。服薬指導をする際には、この内容を患者さんに伝えなければならないと教えていただいた。講義資料でもバセドウ病に対する治療として、チアマゾールやプロピルチオウラシルと記載されていた。

オンラインで災害時の薬剤師の役割に関する講習会にも参加した。実際に被災地でボランティアとして参加した薬剤師の体験談に関する内容が印象に残った。

日誌

日誌 07月15日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	○
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	○
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月15日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	講義資料を確認すると、甲状腺刺激ホルモン（TSH）とヨウ素イオンが甲状腺ホルモンの合成に重要な役割を果たしていると記載されていた。ヨウ素イオンが関与しているので、ヨウ化カリウムの使用は理解できるが、実際の仕組みはよくわからなかった。 メルカゾールについて、適応、用法用量、副作用、使用上の注意、作用機序などについて確認する。
添付資料	健康セミナー.pptx
薬剤師のコメント	今日は本当にがんばりましたね。菜穂も褒めていましたよ。服薬指導とは違って、1対1の関係性ではなく、1対多のやりとりの難しさと楽しさを知ってもらえたのではないのでしょうか。 なぜこの分野は楽しまないと損ですからね。 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月16日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.7 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	会議
		調剤
	10:00	調剤
		調剤
	11:00	調剤
		調剤
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	調剤
		服薬指導
	14:00	薬歴
		フィードバック
	15:00	情報提供書
		調剤
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(2)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	

日誌

日誌 07月16日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

カンジダ症について学んだ。カンジダ菌は、常在している菌である。吸入ステロイド薬は、気道の炎症を抑える効果があり喘息に使用されるが、免疫力を低下させるため、口腔内のカンジダ菌が増殖しやすくなり、口腔カンジダ症を引き起こすことがある。実際にアドエアの添付文書を確認したところ、副作用にカンジダ症と記載されており、吸入後のうがいの重要性を改めて実感した。

カンジダ症の治療には、フロリドゲル経口用2%（ミコナゾール）がよく使用される。しかし、ピッキングした患者の併用薬にリバーロキサバンが含まれていたため、フロリドゲルの使用はできない。添付文書を確認すると、ミコナゾールがCYP3A4を阻害することでリバーロキサバンの血中濃度が上昇し、抗凝固作用が過剰になって出血リスクが増大するおそれがあると記載されていた。そのため、この患者にはファンギゾン（アムホテリシンB）が処方されていた。

便秘の患者さんの服薬指導を2人担当した。1人目の患者さんにはアコファイドが処方されており、食前に服用するよう説明した。胃の調子を整える薬というイメージを持った。2人目の患者さんには、モサブリドとトリメブチンが処方されていた。モサブリドは、胃や腸の運動を促進する薬というイメージを持った。トリメブチンは、腸を整えるため、下痢にも便秘にも対応できる薬というイメージを持った。

OTCでヘルペスの薬を探している方がいた。対応する薬としてヘルペシアクリームがあり、第1類医薬品に分類される。第1類医薬品であるため、薬剤師による対面の説明が必須であり、使用経験がない方には販売できないことを学んだ。

本日は、調剤の件数が多く、ピッキングや一包化を行った。

日誌

日誌 07月16日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月16日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	便秘の患者さんに対して服薬指導をする際に、消化管の薬について、患者さんにどのように説明すればよいかわからず、言葉に詰まった。その薬を飲むことでどのような効果があるかなどをイメージしておくというアドバイスをいただいた。自分なりのイメージを持つことで、説明がしやすいと感じた。 フロリドゲル、ファンギゾン、アコファイド、モサプリドについて、適応、用法用量、副作用、使用上の注意、作用機序などについて確認する。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月17日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.9 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		調剤
	10:00	服薬指導
		薬歴
	11:00	便秘薬
		フィードバック
	12:00	休憩
		服薬指導
	13:00	休憩
		認知症
	14:00	報告書
		報告書
	15:00	小学校
		小学校
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局) 小学校	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月17日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

認知症の患者さんの服薬指導を実施した。前回の処方からモビコールが新たに追加されていたため、服用後の変化について確認した。また、今回はロキソプロフェンが追加されていたので、どこに痛みがあるのか尋ねた。

モビコールとアミティーザ（ルビプロストン）の違いについて考えた。モビコールは浸透圧性下剤であり、腸管内に水分を保持することで便が柔らかく、容積が増え、便秘が改善される。しかし、水に溶かして使用するので手間がかかる。一方で、アミティーザはCIC-2クロライドチャンネルを活性化することで、腸管からの水分分泌を促進し、便を柔らかくする。

アルツハイマー型、Lewy小体型、前頭側頭型の認知症の違いについて触れた。

風邪の患者さんの服薬指導を担当した。指導薬剤師の方から喉が痛そうかもしれないとのアドバイスをいただき、喉の痛みがあるか質問した。その後、エアコンの影響かもしれないと声をかけたところ、そうかもしれないと納得していた。この患者さんは、レストレスレッグス症候群の患者さんの奥様だったので、プラミペキソールの服用を中止後、脚のむずむず感が再発していないか確認した。

近隣の小学校に1型糖尿病の患児が通っているため、その小学校に訪問し、低血糖時の救急処置についてバクスマーの説明を実施した。指導薬剤師の方が、低血糖の症状や発生のタイミング、バクスマーの使用方法、使用後の対応など主な説明を行っていた。実習生は患児役と担任役に分かれ、実際に低血糖が発生した場面を想定したロールプレイを実施した。私は担任役を担当し、バクスマーを使用する前に救急車を呼ぶことや、救急車が到着するまでの間に行う対応について演技した。

在宅訪問している悪性リンパ腫の患者さんの報告書を作成した。

日誌

日誌 07月17日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	○
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月17日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	便秘薬に関して、モビコールとアミティーザに加えて、ゲーフィス、センノシド、マグミット、桃核承気湯、大建中湯、スインプロイック、リンゼスを挙げていただいた。勉強するときに違いを比較しながら覚えていきたい。 認知症の違いについて、過去に触れたことがあり講義資料で復習していたが、違いを思い出せなかった。後ほど、講義資料を見返すと、以前に復習した内容だったと思い出したので、定着させる。
添付資料	
薬剤師のコメント	枠内に出力できる文字数を超えたため、別ページに出力します
添付資料(薬剤師)	KG. pptx KG. xlsx

日誌

日誌 07月17日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

薬剤師のコメント

今日は見事な活躍（担任の先生役）でしたね！ありがとうございます。
本来は学校薬剤師の方の役割かな？と思いますが、患者さんの安全のため学校に赴きました。
重ねて言うと、薬剤によっては本人の使用が想定されていないものもありますので、その場合は

薬剤師法 第二十五条の二

薬剤師は、調剤した薬剤の適正な使用のため、販売又は授与の目的で調剤したときは、患者又は現にその看護に当たっている者に対し、必要な情報を提供し、及び必要な薬学的知見に基づく指導を行わなければならない。

2 薬剤師は、前項に定める場合のほか、調剤した薬剤の適正な使用のため必要があると認める場合には、患者の当該薬剤の使用の状況を継続的かつ的確に把握するとともに、患者又は現にその看護に当たっている者に対し、必要な情報を提供し、及び必要な薬学的知見に基づく指導を行わなければならない。

に則って動く必要があると考えます。

ただ、通常は学校薬剤師の範疇と考えて

学校保健安全法施行規則第24条「学校薬剤師の職務執行の準則」として、以下の7項目があげられている。

- ① 学校保健計画及び学校安全計画の立案に参与
- ② 環境衛生検査に従事
- ③ 環境衛生の維持及び改善に関する必要な指導及び助言
- ④ 健康相談に従事
- ⑤ 保健指導に従事
- ⑥ 学校で使用する医薬品、毒物、劇物、並びに保健管理に必要な用具及び材料の管理に関する必要な指導と助言、及びこれらのものについて必要に応じた試験、検査又は鑑定
- ⑦ その他、必要に応じ、学校における保健管理に関する専門的事項に関する技術及び指導に従事

のうち⑥に相当するため、エピペンの指導などは指導や今回のようなロールプレイが行われていることがあります。

調べてみるのも面白いかもしれませんね。

登録者：小川 智弘

日誌

日誌 07月18日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.5 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	会議
		服薬指導
	10:00	薬歴
		情報提供書
	11:00	受付
		調剤
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	調剤
		調剤
	14:00	調剤
		休憩
	15:00	発表練習見学
		情報提供書
16:00		
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月18日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

高血圧の患者さんの服薬指導を担当した。処方されていた薬はアゼルニジピンであり、患者さんは朝早い時間に来局されたため、先生とお話できたかどうかを質問した。血圧について何うと130くらいとのことだった。患者さんとの会話の中で、現在の薬を減らしたいと考えているような印象を受けた。そのため、アゼルニジピンがどの程度の降圧効果を持つ薬なのかを把握する必要があり、先発品であるカルブロックのインタビューフォームを確認した。そこには、およそ20mmHg程度の降圧があると記載されていた。このデータから、仮に患者さんがアゼルニジピンの服用を中止した場合、血圧が150mmHg前後までに上昇する可能性があるかと予想される。降圧薬がどのくらい血圧を下げるのかを数値として把握しておくことで、薬を継続する必要性や減薬の可能性について患者さんに具体的に伝えられることを学んだ。また、患者さんは採血をしてきたと話されていたが、高血圧においてなぜ採血が行われるのか疑問に残った。

レストレスレッグス症候群の患者さんの情報提供書を作成した。一昨日、むずむず脚が再発したこと、そしてその際に半錠服用することで改善が見られたことを、追加情報として記載した。

在宅訪問している悪性リンパ腫の患者さんのご家族と話す機会があり、入院することになったという報告があった。終末期の患者さんであるため、入院したまま最後を看取れないというパターンもある。入院が第一でなく、患者本人とその家族の思いを聞くことが重要である。

軟膏を実施した。ヘパリン類似物質油性クリーム0.3%とベタメタゾン吉草酸エステル軟膏0.12%をそれぞれ50gずつ混合した。今回で軟膏は3回目となるが、混合が少しずつうまくなってきたと感じている。

日誌

日誌 07月18日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月18日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	高血圧の患者さんの服薬指導を担当した際に採血をしてきたとお話された。そのときは、高血圧なのになぜ採血をしたのか疑問に思ったが、深く掘り下げることができなかった。後から考えると、患者さんに直接質問すれば良かったと感じている。 服薬指導全体的を通して、会話を急に切り上げている。悪いことではないが、話の流れを意識して会話を終えたいと感じた。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月19日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.3 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月19日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 07月19日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月19日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月20日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.7 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月20日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 07月20日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月20日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	